

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN
W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和 63 年 (1988) 5 月 23 日
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋 1-5-12 心斎橋アーバンライフ907
TEL. (06) 6244 -1008 FAX. (06) 6244 -1010
WEB. http://sembarotary.club E-mail : semba@cocoa.ocn.ne.jp
例会 毎週月曜日・12 時 30 分・ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244 -1111
会長 藤井 宏明 幹事 篠藤 敦子 会報広報委員長 中井 崇



四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1603回 例会 2026年 (令和8年) 2月9日
(平和構築と紛争予防月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 原山 歩 副SAA)

- ロ-タリ-ソング 「それでこそロータリー」
- 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告
- 職業奉仕卓話 「薬剤師のお話」大島 弥生 会員 「人材のお話」松村 和也 会員
- 第1回40周年委員会 4階「藤の間」13:40～
- 新入会員歓迎会 シティールートホテル内「桃園園」18:00～20:00

前回 (2月2日) 例会記録

1. 来客紹介 林 英彦 親睦委員

ゲスト: 1名 地区外: 0名 地区内: 1名 合計 2名

ゲスト: 米山奨学生 張 晨陽 様



2. 2月お誕生月会員お祝い

- 三重 慶三 会員 (2月 2日)
- 竹内 弘 会員 (2月 6日)
- 北野 克己 会員 (2月12日)
- 原山 歩 会員 (2月13日)
- 小島 常男 会員 (2月26日)



3. 会長の時間 藤井 宏明 会長

皆さま、こんにちは。本日は、会長の時間に入る前に、皆さまにお知らせをさせていただきたいことがあります。既にご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、我がクラブの会員でいらっしゃいましたドメニコ・カンタレーさんが、本年 1 月 19 日、故郷であるイタリア・バーリにてご逝去されたとの知らせを受けました。昨年には、久しぶりに例会にもお顔を見せてくださり、お元気そうなお姿を拝見したばかりでしたので、この知らせに接し、誠に残念でなりません。カンタレーさんは、長年にわたり、故郷イタリアの食

文化やファッションの普及に尽力され、また、我がクラブにおいても長きにわたりご活躍されました。ここに、そのご功績に深く敬意を表するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

さて、話題を変えさせていただきます。

2月には、ロータリーにおいて「平和構築と紛争予防月間」とされています。本日の会長の時間では、『ロータリーの友』に寄稿されております記事を、皆さんにぜひご紹介したいと思います。タイトルは「ある少年通信兵の沖縄戦」。沖縄コザロータリークラブ名誉会員でいらっしゃる諸見里さんによる、沖縄戦の体験記です。非常に生々しく、読む側の心に強く訴えかけてくる内容で、ぜひ本日、皆さんお一人おひとりに、実際に目を通していただきたい記事です。この文章の最後に、諸見里さんは、次のように訴えておられます。「皇国のため、本土防衛のためと参戦し、老人や女性や子供たちまで巻き込まれ、敗戦の結果、沖縄戦だけで約20万人が犠牲になりました。第二中学校の職員、生徒からは約260人が従軍し、その8割近くが帰らぬ人となりました。あれから80年もの歳月が流れ、人々は豊かさに慣れ、戦争体験も風化しつつありますが、悲惨極まりない戦禍をくぐりぬけてきた者として、これからも平和のありがたさ、生命の尊さを後世に伝えていかなければならないと思いつけています。たとえ、どのような大義名分があろうとも、二度とあのような忌まわしい戦場に、かけがえのない子や孫たちを送りこむことのないよう、反戦の心を後世に伝えてほしい。戦争は、簡単に始めることができます。そして、戦争というのは、人だけが止めることができます。皆さん、特に若い人たちは戦争に加担しないよう、あくまでも民主的に、争いのない世の中をつくらせてほしい。それが、何百万人もの戦争の犠牲者に対する、われわれ日本国民の義務じゃないか。」と思います。必ず、平和な世の中を作ってくれることを希望します。」なお、諸見里さんは、2025年12月6日にご逝去されたと記されています。また、この体験記の前のページには、次のような問いかけが記されています。「第二次世界大戦での日本敗戦から80年以上を経て、日本では戦争を経験したことのない世代が国民の大半を占めるようになりました。その間にも世界では紛争が起き、多くの国で軍事費が引き上げられる状況が続いています。そもそも戦争が起きると、自分の身に何が起きるのか。世界の平和を希求する、ロータリーの会員として、かつて戦争を経験した仲間の会員たちの言葉に耳を傾け、それを記録し、後世に伝えてみてはいかがでしょう？」私自身、この記事を読みながら、平和とは「当たり前続くもの」ではなく、一人ひとりが意識し、守り続けなければならないものだと、改めて考えさせられました。自国ファースト、という考え方も理解はできません。しかし、譲り合い、助け合い、相手を思いやるこのロータリーの精神こそが、今の世界に、最も必要とされている考え方ではないでしょうか。2月の「平和構築と紛争予防月間」にあたり、本日の記事が、皆さんそれぞれが平和について考える小さなきっかけになれば幸いです。本日も、ありがとうございました。

4. ご挨拶 大阪心斎橋ロータリークラブ 直前会長 日野 年澄 様



大阪心斎橋ロータリークラブ 直前会長の日野様が MU にお越しになりご挨拶をしていただきました。

5. 委員会報告 ◎クラブ戦略計画委員会 片岡 清夫 委員長

1/26(月)クラブ戦略計画委員会が開催され、以下のことが決定されました。

1. クラブ理念、クラブビジョンを実現するための具体的計画については、当クラブ今年度末(6月)までに具体策をまとめます。
2. 計画については、3項目に分かれています。
(1) クラブ基盤の充実 (2) 奉仕活動の見直し (3) 委員会活動の見直し

今、この3項目について検討を重ねており、今期中(6月末)までに結論を出すこととします。

6. 地区委員委嘱状授与



藤井会長より、26-27年度地区委員の皆さんに委嘱状が授与されました。

米山奨学委員 盆子原 稔博

7. ニコニコ報告

大阪心齋橋 RC 日野年澄様……いつも大変お世話になり、ありがとうございます。

岡本(真) 会員……大阪心齋橋 RC 前年度会長の日野様、本日はお忙しい中、船場の例会へ足をお運びいただきありがとうございます。

三重 会員……本日で48才に成りました。年男として馬車馬の如く、仕事に家庭に奉仕に頑張ります。

小島、新川、林(英)、清水、原山、北野、山川、竹内、中井、岡本茂、大島、片岡、井澤、中嶋、篠藤、俣野、伊藤、廣、野田、常谷、洪、平山、松村、大嶋、森田、瀬島、高木、五味、中村、林拓、藤井、大久保、盆子原、岩崎、塩尻、小山、井上、各会員……明日は節分です もうすぐ春ですね

三重、竹内、北野、原山、小島、各会員……2月お誕生月

小中、大久保、中嶋、井上、片岡、各会員……2月結婚記念日

8. 米山奨学金授与

りために手を取



藤井会長より、米山奨学生の張 晨陽さんへ奨学金が授与されました。その後、簡単に近況報告をしていただきました。

9. 出席報告 原山 歩 副SAA

会員総数 47名 出席率計算会員数 46名 出席会員数 45名(オンライン5名) 出席率 98%
第1599回(1月13日) 修正出席率 100%

10. 卓話 「生命保険業界のお話」 中嶋 啓至 会員



本日は、卓話の時間をいただき、ありがとうございます。
私は生命保険・金融サービスの分野で活動しておりますが、本日は商品や数字の話ではなく、「MDRT」という国際組織の理念と文化についてお話しします。このMDRTという組織は、ロータリークラブの精神と、非常に多くの共通点を持っているのではないかと思います。

MDRTとは、Million Dollar Round Table の略称です。

全米生命保険外務員協会(NALU)の副会長ポール・クラーク氏が、年間成績100万ドル以上の人たちに呼びかけ、テネシー州メンフィスのホテルに集まったのが始まりです。呼びかけに応じて集まった32名がホテルの会議場の円卓を囲んで議論したのが「MDRT(Million Dollar Round Table)」の始まりであり、名前の由来です。

生命保険・金融サービス分野の国際的プロフェッショナル組織であり、卓越した専門知識、厳格な倫理的行動、そして、優れた顧客サービスを提供しています。生命保険および金融サービス事業における最高水準として、世界中で認知されている団体です。現在、世界80ヶ国以上の国と地域に700名以上の会員がおり、これは単なる表彰団体ではなく、価値観を共有する組織として約100年以上続いています。

・基本理念

MDRTには、5つの基本理念があります。

MDRTが最も大切にしている価値は、次の5つです。

① 顧客第一主義

常に顧客の利益を第一に考え、自分や組織の利益より優先させる

② 社会貢献

ビジネスと地域社会のリーダーとして、様々なボランティア活動を行う

③ プロフェッショナリズム

卓越した商品知識と厳しい倫理基準をもって、最良の顧客サービスを提供する

④ 相互研鑽

国や地域や企業間の垣根を越えて、研修で知識を磨きあい自己研鑽に努める

⑤ シェアリング

日本と世界の会員が集まり、最新アイデアの共有、知識・情報をシェアする

この5つの基本理念は、「成績」よりも上位に置かれています。

・MDRTとロータリークラブとの共通点だと感じる点

- 高い倫理観を重視する
- 専門性を社会のために使う
- 国際的ネットワークを持つ
- 奉仕を行動として実践する

「自分だけが成功すればいい」という考えは、MDRTでは決して歓迎されません

・MDRTは称号ではないということ



MDRTは一度取って終わりの称号ではありません。

毎年、自らを律し、学び続け、社会に貢献し続けることが求められます。これは肩書きではなく、生き方そのものだと感じています。

MDRTとは、成果を社会に還元する仕組みであり、倫理と信頼を守るための組織でもあります。国境を越えて価値観を共有する仲間がいます。

金融の世界においても、最も大切なのは「信頼」と「奉仕」です。その価値を守り続けるために、我々はこの仕事を続けています。

そして、最後にもう一つ。保険会社は違いますが、先輩から教えていただいた、「ホールパーソン」という言葉をご紹介します。人格者という意味ですが、

ビジネスマンとしての活躍のみならず、人生をよりよく生きるために仕事以外の活動にも注力する。家族や健康、キャリアなどのすべてのバランスを維持する努力を続け、人として最大限の能力を発揮する人間であることを目指す 相互研鑽の場である

それがMDRTであると。

今後も高い志を持ち続け、クライアントに寄り添い、共に成長し、指標となり、夢や勇気、安心と笑顔を届けられる、素敵な保険マンで在り続けたいと思います。

2月度理事会報告

令和8年2月2日(月) 於:ホテル日航大阪 13:40~14:40

【承認事項】

1. 1月度会計報告 ⇒ 承認
2. 後期人頭分担金・後期比例人頭分担金 合計308,067円 ⇒ 承認
3. 3/16職場見学のため例会時間15分繰り上げ12:15~13:15 ⇒ 承認
4. 3/2米山奨学生 張晨陽さん送別会会費と記念品は米山補助金から支払う ⇒ 承認
5. 会員満足度調査アンケート実施(2月中) ⇒ 承認

☆次回2月16日(月)例会予定

- ・国際奉仕フォーラム ~14:00
- ・親睦委員会 7階「フォンタナ」 11:30~12:00
- ・第10回グルメ同好会 「M亭」 18:00~